



令和元年度 学校だより

といやっ子

No. 1 0

中能登町立鳥屋小学校

令和2年1月10日

文責 校長 山口 満

教育目標 自ら学び考え、課題を解決し、学びを生かして未来を拓く、心豊かでたくましい児童の育成

新年をむかえ、新しい気持ちでがんばろう！

校歌の歌詞のように、学びの道にはげみましょう！

新年あけましておめでとうございます。本年も鳥屋小学校をよろしく願い申し上げます。
さて、1月8日（水）の3学期の始業式にあたり、児童たちに次のようなことを話しました。

- 1 新しい年が始まりました。「新しい目標をもち、願いや夢がかなう良い年にしましょう。」そして「全校児童275名と先生たちが力を合わせて、すばらしい学校をつくっていきましょう。」しかし、ボーっとしては、その願いはかないません。そのために、勉強をしっかりとがんばることが大切です。
- 2 どのように勉強していけばよいのでしょうか。校歌の2番の歌詞で確認してみましょう。「いざやわが友むつみあい 心は常に素直にて 日毎たゆまず真剣に 学びの道をはげみなん 学びの道をはげみなん」⇒⇒⇒「さあ、みんなで仲よく協力しよう そして心はいつも真っすぐに 先生の教えや正しい言葉や行動を受け入れて 毎日油断をせずに本気に一生懸命に 小学校という長い学びの道の中でたくさんの勉強をして、心と頭と体をきたえていこう」という意味です。鳥屋小学校の伝統ある校歌の歌詞のような心構えで勉強にがんばってほしいと思います。
- 3 4月から「花まるになるように」とみなさんに呼びかけている5つのことがあります。「①聴く力②発表する力③なかよく④あいさつ⑤そうじ」のことです。11月の結果はあまりよくない項目もありました。1月後半にも振り返りをします。「できるようになった」という人が多くなるように、みんなで声をかけ合い、努力してほしいと思います。
- 4 授業中でペアやグループで話し合うことがあります。そのような話し合い活動を、これから「ナカノトーク」と呼び、学習の中で使っていきます。なぜ「ナカノトーク」と呼ぶかというと、中能登中学校がその名前で推進している活動だからです。「お願いします（挨拶）⇒一人一人が意見を言う⇒となりの人やグループみんなであうなずきながら聞く⇒感想や意見を言い合いまとめる⇒ありがとうございました（挨拶）」というような流れです。鳥屋小学校でも3学期に、先生が「グループでナカノトーク」と言ったら、ナカノトークの始まりです。一人一人が意見を積極的に話し、聞いている人はうなずきながら最後までしっかり聞いてあげましょう。そしてみんなで学びを深めていきましょう。（話し合い活動の充実や良好な人間関係作りは、新学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」につながる活動です。）

☆ご家庭でも学校のことを話題に取り上げ、児童たちに励ましの声かけをお願いします。そして、3学期の学校生活がスムーズにできるように、生活リズムの改善、学習道具の確認等のご協力をお願いします。また、学習したことが定着できるように、音読・計算・漢字の練習等も、時々サポートしてあげてください。

◇地域の人から学ぶ 「食」と「伝統行事」

＜とうふ作り（3年）＞ 12月9日（月）、食生活改善推進委員の皆様のご指導で、とうふ作りにチャレンジしました。「大豆を煮る、ミキサーにかける、豆乳をしぼる、にがりを入れる」などの工程でとうふができあがると児童たちは大喜び。児童たちは、できたてのとうふをおいしく味わいました。



＜鶴様道中伝承活動 出前講座（3年）＞ 12月10日（火）、鶴様道中の宿保存会の道端ご夫妻から、鶴様道中の説明をしていただき、鶴かご体験や鶴のはく製見学をさせてもらいました。

今年は鶴様が獲れず、本来の鶴様道中は行われませんでした。来年に期待しましょう。



